

7 火の用心 つのポイント

このことばは、住宅火災による死亡事故防止の対策をまとめたものです。7つのポイントが火災を未然に防ぐための第一歩です。

- ① 寝たばこは絶対やめる
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ③ ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- ④ 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ⑤ 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
- ⑥ 火が小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
- ⑦ お年寄りや身体の不自由な方を守るために、隣近所の協力体制をつくる



住宅防火チェック表

あなたの家の防火チェックをしてみましょう。できているものは○、そうでないものは×を記入してください。

■ キッチン

コンロから離れるときは必ず火を消す	
コンロのそばに燃えやすいものはない	
コンロの点火、消火を確認している	
冷蔵庫のコンセントにほこりはない	
エプロンなどは防災品である	

■ 寝室

住宅用火災警報器を設置している	
寝たばこ、くわえたばこはしない	
ストーブを消してから寝ている	
電気コードが家具の下敷きになっていない	

■ 家のまわり

収集日の朝にごみを出している	
家のまわりは整理整頓されている	
外灯があって夜も明るい	
物置などは施錠している	

■ リビング

洗濯物はストーブの上に干していない	
ストーブのそばに燃えやすいものはない	
たばこの吸い殻が灰皿にたまっていない	
仏壇のろうそく立てが安定している	
仏壇のろうそくなどをつけっぱなしにはしていない	
電気コードがタコ足配線になっていない	
出かける前や就寝前に火の元のチェックをしている	

【総合診断】 ○はいくつありましたか？

- 15 個以上・・・大丈夫！防火意識が高いようです。ただし油断は禁物です。
- 10～14 個・・・もう少し。火災は思わぬところから起こりますので、日々の対策を。
- 5～9 個・・・ちょっと不安。○が増えるよう防火意識を高めましょう。
- 0～4 個・・・注意して！しっかりとした防火対策を立てて火の用心に努めましょう。

● 誌面に対するお問い合わせ先 ●

留萌消防組合 留萌消防署予防課予防係
電話：42-2211 / FAX：43-5150

消防団員 募集

地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。

【全国統一標語】

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

【留萌消防組合テーマ】

『火災から 生命を 守ろう』

春の火災予防運動

4月20日(月)～4月30日(木)

注) 期間中は、午後8時にサイレンを吹鳴します。



これからの季節は、空気が乾燥し風が強くなる時期です。たばこのポイ捨てやごみ焼きなど行うと一気に燃え広がり、大きな火災になってしまう恐れがあります。絶対にしないでください。



第56号

消 火災から高齢者を 守るために・・・

国内の住宅火災における死亡者のうち約7割が65歳以上の高齢者です。高齢化の進展とともに、この割合はさらに増加することが懸念されています。火災から高齢者を守るためには、次の3つが重要です。

① 早く知る

寝ている間に発生した火災に気づかず、逃げ遅れてしまう事例が多く発生しています。こうした逃げ遅れを防ぐため、一般の住宅には住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。就寝中でも大きな音で火災の発生を知らせるので、避難の時間がかかる高齢者でも火が大きくなる前に気づき、その分早く避難することができます。また、住宅用火災警報器の電池の寿命は、長いもので10年程度ですので、定期的に電池が切れていないか作動確認することが大切です。

② 早く消す

万が一、火災が発生しても消火器を備えていれば、被害を最小限に食い止めることができます。

③ 火を拡大させない

死亡者が出た住宅火災で、出火原因はたばこによるものが最も多く、寝たばこが原因の火災が目立っています。調理中の火災も多く、火が衣類に燃え移りやけどを負うケースも目立ちます。このような被害を減らすためにも衣類や寝具は、燃えにくく作られた防災品を使用することが大切です。



▲エアゾール式簡易消火具

す。このほか消火器よりも、小さく軽量で女性や高齢者にも扱いやすいスプレータイプのエアゾール式簡易消火具などがあります。

消 なりにすまし訪問販売に ご注意ください！

消防署では消火器や住宅用火災警報器の販売は一切行っていません。消防職員と偽る「なりにすまし訪問販売」には、十分に注意してください。